

講義名	教養特講（社会保障を考える）			授業形態	
担当教員	中島 孝子	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

社会保障は身近な制度です。だれでも、人生の様々な局面で「困った」に直面する可能性があります。社会保障とは、「困っている人々を助ける」ための社会的な制度や政策といえます。本科目は、社会保障の理念や制度の体系を概観することで、社会保障という制度の基本を理解することを目的とします。授業では、日本の社会保障制度の基本的事項を確認し、それらの問題点を学修します。さらには、海外の制度との比較を通して、社会保障制度の全体像の基本的理解を目指します。

到達目標

現業に採用されている制度の考え方、概要、課題などについて理解できるようになる。
 ・ 社会保障および民間保険
 ・ 社会保障の自制度（医療、介護、年金、雇用、労災）
 ・ 生活保護、社会手当および社会福祉
 社会保障制度の財源について理解できるようになる。
 外国の社会保障制度の概要について理解できるようになる。

提出課題

原則として、毎回、課題を課します。詳細は授業中に指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題の提出後、解答・解説を行います。

評価の基準

成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。
 成績は、提出された課題に対する評価の合計によって評価します。
 定期試験は行いません。

履修にあたっての注意・助言他

どのような場合でも内容に集中して受講してください。
 授業中の私語、遅刻・途中退室などの妨害行為、迷惑行為は厳禁です。
 新聞やテレビ、ネット上で報道される社会保障に関するニュースに関心を持ち、つとめて新聞を読みニュースを見るようにしてください。

教科書

.なし.

参考図書

.なし.

その他

必要に応じて資料を配付します。
 以下は、参考図書の中に、本科目における学習や理解において有用な文献です。
 今井伸雄「新 わかる・みえる社会保障論」みらい 2021
 『社会福祉学辞書』編集委員会 編「第6巻 社会保障」全国社会福祉協議会 2026
 橋野美智子・田中研太郎「はじめての社会保障（第22版）」有斐閣 2025年

授業計画

- 1 社会保障を学ぶ前に
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 2 医療保険制度
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 3 雇用保険制度
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 4 労働災害補償保険制度
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 5 年金保険制度
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 6 介護保険制度
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 7 生活保護制度① 目的と基本理
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 8 生活保護制度② 保護の種類と内容
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 9 社会手当
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。
 (2) 課題に取り組み、期限までに提出する。
 (3) 政府や社会保障制度、利用者などの動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
 (4) (3)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 10 社会福祉制度① 児童と高齢者
 授業後、4時間を目安に以下のことを実施してください。
 (1) 配付資料を用いて授業内容を復習する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

到達目標 - を達成することで、ディプロマ・ポリシー（2）（知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材）に関連する資質・能力を身につけることができる。具体的には次の2点である。
 ・ 社会保障の基本的な考え方をを用いて、現実の社会における問題を考察できるようになる（情報収集力、情報分析力）
 ・ 社会保障制度そのものやその存在理由について自ら考えることにより、現代社会における問題を発見し、解決する手がかりを得ることができる（課題発見力、構想力）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中のアンケートなどにクリックャーを使用します。

実務経験の有無及び活用

備考